

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ワラハンドクラブ・キキ		
○保護者評価実施期間	令和6年 11月 25日		～ 令和6年 12月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	令和6年 11月 25日		～ 令和6年 12月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 12月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画を示しながら、支援内容の説明を保護者へ行っている。	毎日の評価や定期的な評価をスタッフで行い、個別支援計画の内容を意識できるようにしている。	より具体的な5領域に沿った個別支援計画作成と、最低でも6か月に1回の保護者説明と、情報共有を行っていく。
2	利用者の意見を聞く時間を設けたり、支援内容を事前に説明をする時間を設けるなど、意思決定を心がけている。	利用者がキキに通う目的を明確にし、意識して取り組めるようにする。	利用者の特性に配慮し、個別支援計画の目標をイラストで示すことで理解しやすいようにしていく。
3	日々のアセスメントを重視し、個々の特性に配慮した個別活動等を設定している。	利用者が楽しく取り組めるよう、興味・関心がある活動を心がけている。	アセスメントの重要性を意識しながら、スタッフ間で情報共有をしていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	室内に運動エリアがないため、走ったりボール遊びができない。	事業所内の部屋数や広さにも限りがある。ホールの半分は畳になっているため、運動に適していない。	近隣の地域資源(公園や運動施設)を利用したり、室内でできる運動を個別活動(少人数の活動)として相談室で実施していく。また、掃除等でも全身を使うことで体の使い方を支援していく。
2	保護者への日々の活動内容等の情報発信。	連絡帳に個別支援計画の目標の進捗を記入しているが、保護者からの意見等の吸い上げが不十分である。	送迎時や連絡帳にて情報共有し、コミュニケーションしながら保護者のニーズを把握する。
3	家族支援プログラムや家族等も参加できる研修会や情報提供ができていない。	家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)を開催した場合の集客や準備期間等が課題。	家族等も参加できる地域の研修会等の情報提供を行っていく。